

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公表番号】特表2010-529369(P2010-529369A)

【公表日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2010-512227(P2010-512227)

【国際特許分類】

F 01 N	3/28	(2006.01)
B 01 D	53/86	(2006.01)
B 01 J	33/00	(2006.01)
C 09 J	7/02	(2006.01)
C 09 J	1/00	(2006.01)

【F I】

F 01 N	3/28	3 1 1 N
B 01 D	53/36	Z A B C
B 01 J	33/00	G
C 09 J	7/02	Z
C 09 J	1/00	
F 01 N	3/28	3 1 1 P

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月26日(2011.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無機纖維を含み、第1及び第2の相対する主表面を有するマウント材料と、

前記第1の主表面の少なくとも一部分に隣接して前記マウント材料の上に内部方向に配置されるが、前記マウント材料の全体にわたって広がらない、熱的に活性化可能な接着剤層と、を含み、

次の化学式

$(M^{m+})_d ((Z_p O_q (OH)_r)^{n-})_e \cdot (H_2O)_f$

[式中、各 M^{m+} は、独立して、 H^+ 以外のカチオン種を表し、正電荷 $m +$ を有し、

$(Z_p O_q (OH)_r)^{n-}$ は電荷 $n -$ を有する種を示し、 Z はホウ素を表し、更に式中 : f は 0 以上の実数であり、

d 、 n 、 q 及び r は 0 以上の整数であり、

e 、 m 及び p は 1 以上の整数であり、並びに、

$d \times m$ は $e \times n$ に等しい。] で表わされる少なくとも 1 つの化合物が、乾燥重量基準で、該熱的に活性化可能な接着剤の大部分を占め、かつ可撓性である、

固定可能なマウント材料。

【請求項2】

ハウジングと、

前記ハウジング内に配置される汚染防止要素と、

前記ハウジングに隣接して、又は前記ハウジング内に配置された請求項1に記載の固定

可能なマウント材料と、を含む汚染防止装置。

【請求項3】

請求項1に記載の固定可能なマウント材料を、汚染防止要素がその中に配置されたハウジングに隣接して、又はハウジング内に配置することを含む、汚染防止装置の製造方法。

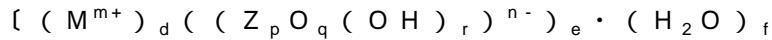
【請求項4】

無機纖維と複数の主表面を含み、該複数の主表面が第1の主表面を含む、マウント材料を提供することと、

液体溶媒に溶解した熱的に活性化可能な接着剤を含む乾燥可能な溶液を、前記第1の主表面に隣接する前記無機纖維に適用することと、

前記乾燥可能な溶液を実質的に乾燥して、前記第1の主表面に隣接して内部方向に配置されるが、前記マウント材料の全体にわたって広がらない前記熱的に活性化可能な接着剤を含む層を提供することを含み、

次の化学式



(式中、各 M^{m+} は、独立して、 H^+ 以外のカチオン種を表し、正電荷 $m +$ を有し、

$(Z_p O_q (OH)_r)^{n-}$ は電荷 $n -$ を有する種を示し、 Z はホウ素であり、更に式中：
 f は 0 以上の実数であり、

d 、 n 、 q 及び r は 0 以上の整数であり、

e 、 m 及び p は 1 以上の整数であり、並びに、

$d \times m$ は $e \times n$ に等しい。] で表わされる少なくとも 1 つの化合物が、乾燥重量基準で、前記熱的に活性化可能な接着剤の大部分を占め、かつ

可撓性である、固定可能なマウント材料を製造する方法。